



黒沢一成議員

津波防災

避難路の標識設置を

見直しを行い目立つ場所に

質問 五月に行った地震津波対策町民懇談会に関し、次の点を問う。

- ①住民の集まりはどうか。また、参加者の意識はどうかであったか。
- ②町民からさまざまな意見が出たと思うが、今後の行政に生かせる意見としてどのような事があるか。
- ③地元の地理の分からない観光客など、町外から訪

れた人に対する避難路の標識の設置予定はどうか。なっているか。

沼崎町長

- ①参加者は町内十地区で合計二百二十六人であった。宮城県沖地震津波被害シミュレーションなどを見て改めて地震津波災害に対する意識を高めたのではないかと感じている。
- ②防災意識の低下に関する

意見が多くあった。また、自主防災組織の必要性をほとんどの出席者が認識しているようであった。

- ③避難標識は各漁港の防潮堤付近などに設置されているが、劣化が進んでいる所や現況の変化もあり見直しの検討をしている。海水浴場については目につきやすい場所への設置が必要と考える。

町の考えを聞く



6月28日関口児童館の運営方法の変更にかかわる説明会が行われました



海水浴シーズンを迎え、オランダ島に新しく設置された津波避難標識

福祉行政

保育園民営化、説明会による反応は

説明会の結果による影響はない

質問 五月に町立保育園の民営化について地区住民と保護者に対して説明会を行ったが参加者の反応はどうであったか。また、今後の方向性への影響は。

沼崎町長 説明会での参

加者からの主な意見は、「民営化に対する不安」「入所園児数の減少による廃園への不安」「現状と同様に行政での保育運営を」などがあった。しかし、町としての民営化の方向性は、「山

田町行政改革大綱」及び「就学前施設運営検討委員会」の提言を受けて決定しており、説明会の結果による影響はない。ただし、現在保育園で働いている職員の処遇の問題もあり、町立の四園を一度には民営化できないだろう。できるところから民営化していく。公募、選考の日程や選考委員会のメンバーなど具体的なことは決まっていない。